

日東精工グループは広がっています!

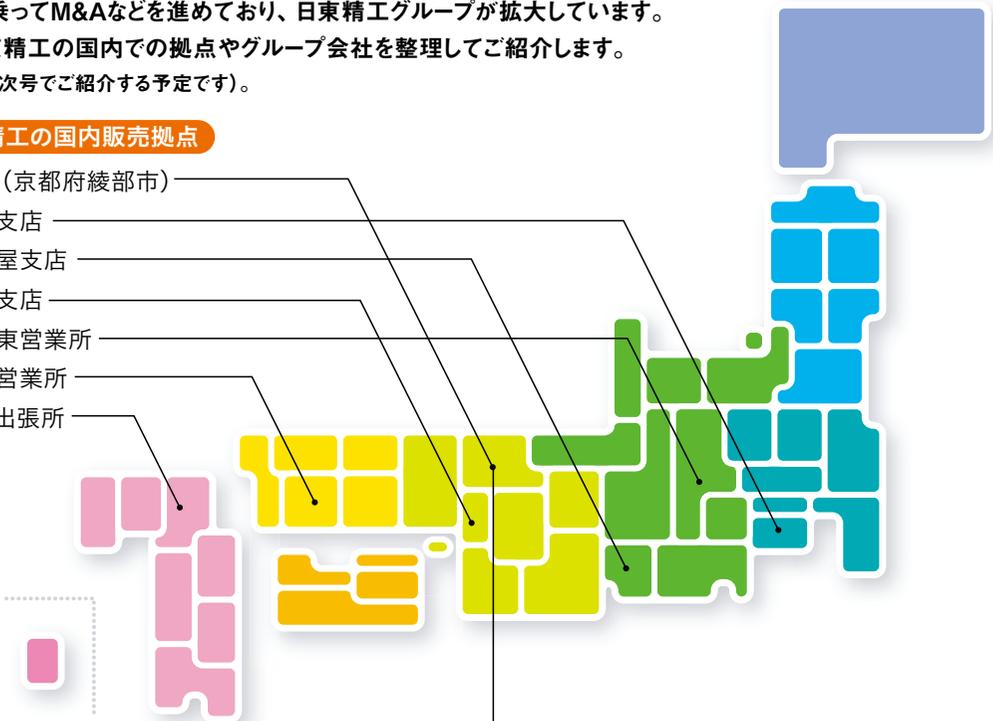
日東精工 国内の連結子会社・ 関連会社を一覧にして紹介

日東精工では本年2019年、今後10年を見据えた長期経営ビジョンを策定し、『世界中で認められ、求められる「モノづくりソリューショングループ」を目指す』としています。そして2019年から2022年までの4年間をファーストステージとして、中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”」を推進してまいります。

この“G”はGroup’s、Global、Growthの3つのGのこと。日東精工グループ全体のベクトルを合わせて互いのシナジーを追求する、グループの提案力と行動力でグローバルに展開・海外シェアを高めていく、そしてまた革新的QCDI※の向上でグループ全体での成長を目指すものです。成長路線に乗ってM&Aなどを進めており、日東精工グループが拡大しています。今号では日東精工の国内での拠点やグループ会社を整理してご紹介します。(海外の拠点は次号でご紹介する予定です)。

日東精工の国内販売拠点

- 本社 (京都府綾部市)
- 東京支店
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 北関東営業所
- 広島営業所
- 九州出張所



日東精工国内製造・研究拠点

- 本社 (京都府綾部市)
 - 本社工場: ファスナー事業部 / 工業用ファスナー
 - 八田工場: ファスナー事業部 / 工業用ファスナー
 - 城山工場: 産機事業部 / 自動組立機械
 - 制御システム工場: 制御システム事業部 計測制御機器
- 京都R&Dセンター (京都府京都市)



京都府綾部市にある日東精工本社

日東精工グループ° (国内編)

日東精工国内連結子会社9社並びに関連会社2社の所在地や特長を一覧にしました。
また本社のある京都府綾部市を中心に日東協力会に所属する協力企業が約20社あり、
多くの方々に支えていただいています。

日東公進(株)

京都府綾部市

日東精工創業の功労者・四方重吉氏が興した個人企業がその前身。日東精工産機事業部製品の組立及び調整(自動ねじ締め機・ねじ供給機)を担当し「日東精工グループのトップランナー」を目指しています。また、日東精工の製品だけでなく、自社ブランド製品として計数包装機(袋詰め、箱詰め)・計数機・外観検査装置・搬送収納装置・基板検査装置・アルカリ電解水洗浄装置・アルカリ電解水生成ユニットなどを製造販売しています。環境機器分野から省力化機器・検査機器分野までを、自社製品の設計・製造・販売及び開発。設計から加工・組立・据付まで一貫して対応できますので、小回りの利く細やかな対応やさまざまな提案ができることを強みとしています。

たとえば、お客様の工場が水害に遭われたときに設備の復旧に直ちに駆けつけ、短時間で完了。「予定よりも早く生産できるようになり助かった」と大変喜んでいただいたことがあります。感謝状をいただき社員全員の誇りでもあります。



デバッグ作業



計数包装機



複合加工機

<http://www.nittokoshin.co.jp/>

和光(株)

群馬県邑楽郡

メーカー商社ならではの調達力を活かし、自動車分野から産業機器、医療機器、住宅、家電、楽器まで、あらゆる分野のお客様ニーズに最適な製品とサービスを提供しています。国内外に拠点を設け、香港、ベトナムには国内販売部品の調達ルートを独自でもっており、標準品から金属加工品、プラスチック製品、アセンブリ品に至るまでネットワークを活かして様々な製品を調達し供給しています。

日東精工のファスナー、産機、制御システムの3事業部の製品のほかにも、切削プレス製品から住宅関連部品まで多岐にわたる製品群が特長で、国内に約300社、海外にも数十社と幅広い提携先があり、良好な関係を築いていることが強みとなっています。

創業以来保ち続けている当社の不変のテーマは「挑戦」です。今日という日を着実に積み重ねながら、未知の明日へチャレンジしていく姿勢こそが輝かしい未来を創造する力の源であるとし、こうした思想から生まれた数々の商品は、信頼の証として大きな評価を獲得しています。



ハイブリットカー用高圧コネクタ(プラスチック、プレスなどのアセンブリ)



住宅用タイル
(ベトナムから調達)



朝礼風景(群馬本社)

<http://www.wacohkk.co.jp>

東洋圧造(株)

群馬県前橋市

昭和32年の創業以来、冷間圧造技術を得意としており、自動車産業向けを中心にボルト、リベット、特殊部品など高品質な製品を製造販売しています。通常のボルトから脱却し、圧造・転造加工品に切削やプレス加工を施した特殊形状部品や、ベンダー機を使用した曲げ加工品などを生産。

呼び径6~20ミリの〈太モノ〉を扱う同業他社は少なくありませんが、自社で調質炉を整備し焼入れまで行う一貫加工メーカーであることも当社の強みです。特殊部品化、冷間圧造部品とプレス部品とのドッキングなど新しい部品加工に取り組み、親会社である日東精工との連携強化により技術提案型企業を目指しています。

<http://www.toatsu.co.jp>



特殊ボルト品



プレス加工品



画像選別機

日東工具販売(株)

大阪府東大阪市

日東精工100%出資の販売会社で、日東精工大阪支店内に会社をおいています。日東精工のファスナー、産機、制御システム事業部には、それぞれ個別に販売部があり販売チャンネルをもっていますが、日東工具販売はこれら3事業部やグループ会社を横断、連携させる役割を担っています。またヘッディングパンチや転造パイプ、一般工具などは日東工具販売のみが販売しています。

納期やロットなど、よりきめの細かい対応ができることが当社の強みであり、大手だけでなく中小企業にも販路もっているため、より現場の声が拾えることができ、情報収集の最前線でもあります。



<https://www.nittokog.co.jp>

(株)ニッセイ

京都府綾部市

日東精工100%出資の子会社で、日東精工で製造された工業用ファスナー類や製造工具の熱処理及びめっきを行っています。そして、これらは「日東精工のねじに魂を入れる仕事である」と自負しています。

平成15年・16年には、日東精工内の熱処理部門、平成22年にはめっき部門もすべて移管され、日東精工の熱処理・めっきを一手に請け負っています。また、工具部門では近郊の会社の部品も熱処理しています。また、損害保険の代理店もしています。



浸炭焼入後製品



浸炭焼入戻炉



硬度検査



亜鉛クロメート処理後製品

(株)ファイン

京都府綾部市

日東精工ファスナー事業部八田工場の最終工程に属する検査包装業務を請負う日東精工100%出資の子会社です。

主な業務内容は精密製品、特品製品、中空製品、

一般製品の終品検査・受入検査・巡回検査。精密製品、特品製品、中空製品の機械画像選別・製品の袋詰め、小箱詰め、バラ詰め包装・製品の入庫と梱包・自動ラック倉庫の出入庫までを担当しています。



終品検査



包装工程



画像選別機

東陽精工(株)

京都府綾部市

ねじ製造用鍛造金型を中心に各種金属の加工を行っています。とくに鍛造用金型に用いられる、超硬合金、ダイス鋼、ハイス鋼等を切削、円筒研削、内筒研削、型彫り放電、ワイヤー放電等、幅広い加工機でお客様のニーズに応えるべく、日々努力を重ねています。最近では難削材料である純チタン、64チタンなどの切削、研削に至るまで加工分野を拡大しています。当社は「丸物大好き」をキャッチフレーズに丸い加工品を得意としている会社です。



<http://www.touyouseikou.jp>

(株)協栄製作所

奈良県五條市

昭和21年創業。当初は切削でねじをつくっていましたが、その後、圧造にて「六角ボルト」や「コーチスクリュー」を開発。軸力が強いなどの特性を生かし、今でも住宅関連を中心に自動車分野などの幅広いニーズに応えています。ねじを大量に生産する場合、一般には原料となる線材を引き抜き加工して鉄線をつくります。この鉄線は一般に伸線メーカーから購入することが多いのですが、当社ではこの伸線から最終製品までの一貫生産体制を保持していることが他社にはない大きな強みになっています。精密ねじ・極小ねじを得意とする日東精工に対し、P3で紹介した東洋圧造同様に、太モノをメインとしており、グループ間連携を強化していくことで、大きな可能性が広がってきます。



営業社員新人教育



六角ボルト



伸線機への材料投入

<http://www.neji-kyoeiseisakusyo.co.jp>

株伸和精工

長野県上伊那郡

ミクロン単位の精度を実現する「精密プレス加工」のプロフェッショナル集団です。困難な加工にも積極果敢に挑戦し、お客様の課題解決に貢献いたします。ミクロン単位の加工を実現すると同時に、様々な材料への対応、抜き、曲げ、絞り、潰しといった様々な要素技術への対応が可能な、数少ないプレスメーカーでもあります。切削でしか対応できなかった精密部品のプレス化や、ダイキャストでしか対応できなかった複雑形状のプレス化を実現し、多くのお客様のコストダウンに貢献しています。



プレス加工作業風景



プレス製品



精密剪断加工部品

<https://www.shinwaseiko.co.jp>

松浦屋(株)

東京都品川区

昭和9年創業。電気機械、スプリング耐火煉瓦、自動車、電球等の国内販売及び輸出業を始めた「松浦屋商会」が前身です。ファスナー製品（締結部品）、産業用機械装置、表面処理装置を中心に商社業務を行っています。北は北海道の苫小牧市、南は兵庫県姫路市に事業所をもち、海外展開が進むなか、現在では医療分野やトラック輸送機器関連など国内生産に力を入れる取引先をメインにしています。商社が介在することで付加価値をいかに提供できるかに注力し、とくに入荷製品の徹底したチェック体制による品質管理を行っており品質不具合ゼロを目指しています。



社員参加の研修会



代表的な取り扱い製品

<http://www.matsuuraya.com>

九州日東精工(株)

福岡県福岡市

九州地区をメインとするモノづくり技術提案型の商社です。産業用省力機械、工業用流量計、各種金属加工品、樹脂製品も取り扱っています。小さなねじからハイテク部品まで、人と人、モノとモノの間を結び、新たな可能性に挑戦し続けます。

各種金属の加工技術による幅広い製品で、信頼と実績を得ています。お客様の課題や“困った”を、いち早く共有化し、提案と試行の繰り返しを通じて、モノづくりの実現に、ひとつでも多くお役に立ちたいと願っています。



<http://www.q-nittoseiko.com>

2018年12月期決算説明会を 東京・日本橋で開催しました

2月28日に東京日本橋にある㈱日本投資環境研究所において2018年12月期決算説明会を開催、当社代表取締役社長材木正己が決算報告をさせていただきました。当期も増収増益であったことや新製品情報、業界動向とそれに対する当社の取り組みなどを丁寧に解説。そして本年から新しい中期経営計画がスタートしたことや、4月から採用した日東精工グループの新しいロゴマークについてもご説明いたしました。

ご用意した席がすべて埋まるほど盛況で、アナリストの方々から多数ご質問をいただきましたが、これは当社への興味や関心をおもちいただいていることと理解し、今後も企業価値向上に努めてまいります。



受験生7251名をゆるみ止めねじ 「ギザタイト」で応援しました。

前号のニュースレターでもご紹介しましたが、受験生応援ゆるみ止めねじプレゼントキャンペーンは回を重ねるごとに応募数が増えています。5年目となる本年度は全4回のうち最終受付を待たずして昨年度までの数字を上回り7000名を超えました。そして3月1日から4回目となる最終受付を開始し、3月8日に締め切らせていただきましたが、最終応募総数は7251名となりました。同キャンペーンは日東精工のこと、そしてねじの大切さを若い世代を中心にたくさんの方に知っていただく一助となっており、これからもこの企画を大切にまいります。



異種金属接合「AKROSE」の可能性を 学会発表しました

当社ファスナー事業部で開発した異種金属接合技術「AKROSE（アクローズ）」は昨年10月に発表以降、自動車業界をはじめ様々な分野で注目され、また多くのメディアなどにも取り上げられています。3月22日には(一社)溶接学会の研究会「異材接合の最新トレンド」(於 名古屋市工業研究所)にお招きいただき、当社ファスナー事業部の手島政和が「塑性変形を利用した異種金属接合技術」というテーマでプレゼンテーション。低コスト、省エネ、軽減化に役立つことはもちろん、強度や耐熱性の信頼性も高く、環境・安全面でもメリットが多いことなどをご紹介し、参加者の方々から高評価をいただきました。

「AKROSE」で新しい時代のニーズに応えてまいります。



京都府立工業高校に ねじ締めロボットを寄贈しました

今般、京都府立工業高等学校から学科改編に伴う教育振興基金設立に関する案内を受け、2018年度より新設されたロボット技術科への適合も考慮した結果、当社主力製品である「位置補正カメラ搭載ねじ締めロボット（ねじロボ®）」(637万円相当)を寄贈しました。同校からは多くの卒業生が当社に就職し、本製品の設計・製造に携わる者も多く、活躍の場を広げています。当社のねじ締めロボットが有益な機器となり、工業実習において新たな教育が推進されることを期待しています。



3月11日京都府立工業高等学校での寄贈式

横浜・みなとみらい リレーマラソンに2チーム編成

2月24日横浜・みなとみらいで「FMヨコハママラソン」が開催されました。これは個人ではなくチームとしてのリレーで42.195キロを走り抜くというものです。駅伝のように区間が決まっているのではなく、規定のコースをたとえばAさんが5周、Bさんは1周というように各人の実力に合わせたチーム編成ができるというもの。走力がある人もそうでない人もそれぞれの力を発揮しゴールを目指すものです。

日東精工東京支店からは制御システム中心チームと産機中心チームが出場し、参加220チーム中、58位と83位という成績でした。表彰台には届きませんでしたが、社員同士の絆を深めることができました。



昭和の写真集に日東精工が紹介されました

日東精工が本社をおく綾部、そしてお隣の福知山の昭和初期から戦後の姿を記録した貴重な写真が、書籍となり発売されています。

弊社も写真提供だけでなく、マーケティング課長高見裕臣と監査課長布川貴英が原稿執筆の協力をさせていただきました。フォトコラムとして日東精工のことが5ページにわたり紹介されています。



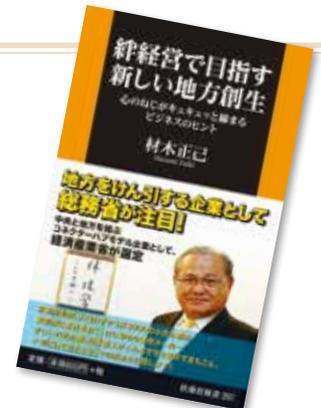
「福知山・綾部の昭和」
(樹林舎 9,250円+税)

十字穴付きねじの
目視検査の様子。
昭和34年、日東精工
第三工場



『絆経営で目指す新しい地方創生』 書店で1位を獲得。早くも増刷決定！

当社代表取締役社長材木正己著『絆経営で目指す新しい地方創生』が3月4日、扶桑社から発売されました。既に多くの方から好意的な感想を寄せていただいておりますが、書店での売れ行きも好調で、京都のふたば書房チェーンや大垣書店三条本店、福知山の福島文進堂などでは週間ランキング1位を獲得、大阪梅田紀伊國屋本店でも2位となり、発売ひと月を待たずして増刷が決定しています。本書はこのニュースレターでの連載コラムや対談などを再構成したもので、読み応えのある内容ですので、ご興味をおもちいただける方は、ぜひご一読ください。





「平成」の意味ある言葉を選んでみました

平

成から令和へと新しい御代となります。

このニュースレターも今号が平成最終号となりますので、平成の天皇陛下、皇后陛下のお言葉をいくつかご紹介しましょう。

「与えられた公務を真摯に果たしていく中から、新たに生まれてくる公務もある」。

これは今から15年前、平成16年、12月23日、天皇誕生日に〈次世代の皇室の活動について〉の考えを述べられたものです。

「秋篠宮の『公務は受け身のもの』と皇太子の『時代に即した公務』とは、必ずしも対極にあるものではないと思います。新たな公務も、そこに個人の希望や関心がなくては本當の意義を持ち得ないし、また与えられた公務を真摯に果たしていく中から、新たに生まれてくる公務もあることを、私どもは結婚後の長い年月の間に、経験したからです」と続きます。

天皇陛下のおかれたお立場と一般人を並列に考えるのはおこがましくもありませんが、

お言葉の「公務」を「仕事」という表現におきかえれば、より身近なものになり、ビジネスヒントにもなるでしょう。

日々やらねばならないことはたくさんあります。それがルーティン化、マンネリ化してくると、ときにはつまらなく感じることもあるかもしれません。でもつまらないと腐っているのではなく、一つひとつに誠実に、真摯に丁寧に向き合ってこなしていくことで、新たに見えてくるものがある、喜びが生まれてくるということがあります。

与えられたということは、それを生かしていけるという可能性がたくさんあるということ。受け身であることは、けつしてネガティブなことではないということですね。

そして、時代に即して変えていく、新しいものを求める……変化を求めること、それ

自体は「向上心」に結びついてとても大切なことです。でもそれは、天皇陛下のお言葉を借りれば「その継続性や従来の公務との関係もよく懸案していく」ことがあって成立するものです。

変えること、変わることをおそれない、しかし、守るべきことは守るといふ姿勢、先人への感謝の思いをもち続けることも大切にしたいです。

「前の御代からお受けしたものを、精一杯、次の時代まで

運ぶものでありたいと願っています」

これは皇后陛下 美智子さまのお言葉です。当社 日東精工も先人が築いた大切なものを守り、次代につなげていきたいと思えます。



4月1日は「号外」も発行された。タピトップで新元号を発表する新聞各紙

あやべ ちょっと寄り道

連載16

JR 綾部駅近辺は ワンダーランド

今号はJR綾部駅のご紹介。京都駅から山陰本線の特急で、約1時間で綾部に到着。そのまま乗り続けければ福知山、そして京丹後鉄道で日本三景 天の橋立方面に向かいますが、綾部は舞鶴線の始発駅でもありここから東舞鶴、そして福井方面へともつながっています。京都発着の特急の多くは「天橋立行」「舞鶴行」と併結して運行、綾部駅で車両を切り離したり連結したりします。その手作業がホームで間近で見られるのは珍しいです。また綾部駅東側にある踏切は舞鶴線の踏切と山陰線の踏切が交わる場所ですが、川の中州のようにふたつの踏切（遮断機）の間にお店がある、知る人ぞ知る珍八景！

